

飛び込め、  
公認心理師を  
目指して。



医療法人心劇会  
さっぽろ駅前クリニック  
公認心理師実務従事者

recruiting  
information

2026

採用案内

# さっぽろ駅前クリニックなら

大学で必要単位の取得後に、臨床の現場で働きながら公認心理師を目指せます。

## 1

### 公認心理師とは？

公認心理師とは公認心理師法（2017年9月15日施行）に定められた心理職唯一の国家資格です。これからますます心理職の質および地位の向上が見込まれるなか、心理職は国家資格である公認心理師資格を持つのが当たり前になっていくと考えられます。

公認心理師試験を受験するためには、公認心理師のカリキュラムに対応した大学で心理学を学んだのち、同じくカリキュラムに対応した大学院で学ぶか、専門的なプログラムを持つ実務機関での実務経験を積む必要があります。

さっぽろ駅前クリニックは公認心理師法で定められた実務機関であるため、就労しながら3年間の研修を受けると公認心理師の受験資格が得られます。

## さっぽろ駅前クリニックとは？

薬物療法だけでなく、心理療法、特に集団療法での心理学的アプローチを軸に精神科医療を行っています。メンタル不調で給食された方の治療のための「リワークデイケア」のほか、同一法人で発達障害者や就労を目指す方の治療のための福祉事業所を運営しており、多職種が互いに関わり協力しながらよりよい医療を提供できるように日々取り組んでおります。

北海道の中心地である札幌駅から徒歩5分とアクセス至便で、オン・オフともに充実させることができます。また、札幌駅前通地価歩行空間に直結しているため、冬季も快適に通勤可能です。

## 3

### 理事長からのメッセージ

公認心理師になろうと考えている皆さんを心から歓迎します。

昨今の日本の精神医療は、残念なことに皆さんが思っているほど患者さんに寄り添えているとはいえません。精神科医が患者さんの訴えるこころの悩みに十分に耳を傾ける時間を確保できず、お薬を使った治療が中心になってしまっているのが現状です。ゆえに、医師の診療を補完し、患者さんの心理的な評価や支援を行う、優秀な心理職が強く求められています。

日本の精神医療をよりよくすることを法人理念として掲げる心劇会にとって、公認心理師の育成は責務であるといえます。そこで私たちは、厚生労働省・文部科学省の厳しい基準をクリアし、皆さんが立派

な公認心理師となれるようなプログラムを準備しました。当院のプログラムを修了した1期生は、令和4年7月に行われた公認心理師の国家試験において全員が全国平均合格率48.3%の難関を乗り越えて合格、その後の国家試験でも全員合格しています。

もちろん、働きながら公認心理師を目指すことにはたくさんの困難が伴うでしょう。しかし、大学院で学ぶだけでは得られない数々の経験は、確かな技能を身につけるための足掛かりになるはずです。

より実践的な公認心理師を目指し挑戦する皆さんを私たちは応援します。皆さんと共に働ける日を、職員一同楽しみにしています。



医療法人心劇会  
理事長 横山太範

# 4

## 公認心理師実務従事者※の1日

仕事・勉強・余暇と忙しくもメリハリをつけて生活をしています。  
余暇はドライブ・スキーなどで北海道ならではの自然を味わいリフレッシュすることも！

### 平日のシフト例

8:30	出勤・前日の記録の確認	
9:00	会議	
10:00	業務（面談・対応）	
11:00		
12:00	昼食	
13:00	午後のプログラム	
14:00		
15:00	プログラムの振り返り プログラム記録・業務	
16:00		
17:00	デイケア担当面談・記録・対応 退勤	
18:00	帰宅・買い物	
19:00	夕食・お風呂・リラックスタイム	
20:00		
21:00	勉強・ストレッチ	
22:00		
23:00	就寝	

### 土曜日のシフト例

9:30	出勤・朝の準備	
10:00	外来業務 （電話対応・検査対応・問診）	
11:00	カウンセリング	
12:00	昼食	
13:00	WAISの実施 外来業務など	
14:00		
15:00		
16:00	業務の締め作業 退勤	
17:00	帰宅・買い物	
18:00	夕食・お風呂・リラックスタイム	
19:00		
20:00	勉強・ストレッチ	
21:00		
22:00	就寝	

## カリキュラム

さっぽろ駅前クリニックでは、公認心理師の受験資格を得るための3年間の研修と、公認心理師資格取得後の2年間の勤務の計5年間で、確かな知識と豊かな臨床経験を持つ公認心理師の育成を行っています。

### 1年目

心理学や臨床に関する基礎を学ぶ

毎週金曜日は院内講師による講義で臨床心理学や心理士としての基本的姿勢について学びを深めます。日常業務では、デイケア業務、外来診療の補助や多職種の業務を通じて、精神科医療を学びます。

### 2年目

外部実習や心理検査

デイケアでは担当患者の治療計画に関わります。心理検査では指導者のもとで複雑検査（WAISなど）の実施を開始します。また、福祉分野と司法・犯罪分野、産業・組織分野への外部実習を行います。

### 3年目

国家試験対策を行う

デイケアでは各プログラムでリーダーを担っていきます。心理検査、カウンセリングも実施します。また、本格的に試験勉強を行う期間と考え、試験対策として外部主催の模擬試験も実施します。

### 4～5年目

公認心理師となり、スキルアップ！

業務はクリニック、または同法人福祉施設で行い、公認心理師資格を取得した後は、個人カウンセリングを本格的に実施します。「資格のある公認心理師」から「実力、実績のある公認心理師」へ！



# 先輩たちの声

## 宿泊業界からの一念発起

大学では経済学を学び卒業後は宿泊業界で働いていましたが、身近でメンタル不調で悩んでいる人に何もできなかった経験から、少しでも何かできるようになりたい、役に立ちたいと思ったことをきっかけに公認心理師を目指すようになりました。通信大学で単位取得後、当院の公認心理師実務従事者として勤務を開始しました。

大学院に行かず実務従事者を選んだのは経済的な理由と、臨床の現場で実際に学んだ方が身になると思ったからです。それまでまったく別の業界にいた自分が医療業界に足を踏み入れていいのかという思いや患者さんとの関わりの難しさなどを考えると不安もありましたが、周りの先輩方のアドバイスもあり、今は「患者さんはこういうことを考えているんじゃないか」という仮説を立てながら関わることができるようになりました。



## こころのふしぎとこどものために

大学では元々国際学部で学んでいましたが、留学などを通し多くの人の多様な価値観に触れ、心とは何かということが気になり学部を変更し心理学を学び始めました。こどもが好きだったということもあり、こどもの気持ちを聴き助けられる心理士になりたいと思ったことが公認心理師を目指すようになったきっかけです。

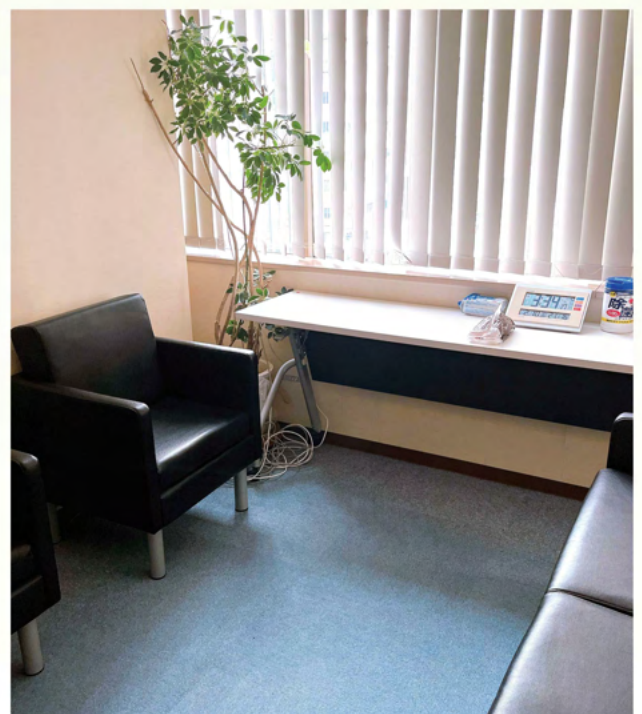
現在は復職支援や再就職支援を行っているため成人の方の支援を行うことが多いですが、以前福祉施設で働いていた際にも、こどもの親をはじめ、成人の方との関わりは支援において重要であることを感じていたため、当院での業務はとても大切な学びとなっています。



## 就職のきっかけと札幌について

私は大学で心理学を専攻しており大学院に行こうと考えていましたが、様々な事情から働きながら公認心理師試験の受験資格を取得できるこのクリニックに就職しました。初めての土地に少しの不安はありましたが、同期が4人全員道外出身者だったので業務外でも札幌についての情報交換をしたり、もちろん業務についてわからないことを相談したり気持ちを吐き出しあったりと、支えあって切磋琢磨しながら札幌での新生活をしています。

初めての札幌はとても住みやすいと感じています。雪は多いですが地下が発達しているので外に出なくても大体のものが揃いますし、地下鉄圏に家があれば地下鉄だけで生活が完結します。また、通勤の時も地下から直結なので寒い冬でも1回も外に出ないで済むので便利です。





## 現場の中で学ぶ多職種連携

公認心理師実務従事者は、臨床だけではなく受付や書類作成などクリニック全体の業務を一通り学ぶことができるので、『多職種連携』を早くに意識できることもプラスになるのではないかと思います。働きながら勉強もすることは大変ですが、臨床現場の中で試行錯誤しながらやったことは必ず自分の身になります。



## 知識と技術を臨床の現場で結ぶ

今は発達障害の方の支援を主に行っているため、他の人には伝わりづらい本人たちの苦勞に寄り添いながら言葉を選んで伝えていく必要がありますが、経験がない中ではなかなか難しいのが実情です。

当院の公認心理師実務従事者が受ける研修の中に様々なシチュエーションを想定し、患者さんの発言に対してどう返答するかをロールプレイする「応答構成」というものがあります。そういう研修で自分の面談時の発言を振り返ったり、自分の発言に対して相手がどう感じるか、どうすれば相手に伝わるかを考えることができます。机上で覚えた知識を実際の現場で生かしていくことはとても難しいですが、それらを結び付ける時間が業務内にあることはとても勉強になります。



## 臨床の現場で身になる知識を

知識レベルでは知っていたことであっても現場で実際に使わなければ活用できないものも多くありますし、患者さんに関わって知識を応用しながら自分の実体験として使えるように積み重ねていけることが公認心理師実務従事者として働いて資格取得することの強みです。

また、研究のサポート体制も充実しています。経験豊富な先輩についてもらって指導を受けることができるほか、まめに発表会があるためそれぞれの研究がどのようになっているかを見て、刺激を受けることもあります。そのほか2週に1回事例検討会で他の人がどのように支援しているかを見ることができると、支援の方法がまだ確立していない段階では特に勉強になることばかりです。また、自分でも事例検討会の発表を定期的に行いますが、作成した資料を先輩にチェックしてもらったり相談したりなど助けてもらっています。そのほか、研究について院長先生から直接ご指導いただく場も定期的にあるため、非常にありがたいと感じています。

## 学べること

このクリニックでは精神科デイケアを行う医療機関の中でも特に集団療法に力を入れています。集団の中での振舞いやグループ内でリーダーとして何ができるか・何をすべきかなどの実践的な内容を学べることに加え、カウンセリングなどの個人療法についてもスーパーバイズを受けることができるのも魅力のひとつです。知識として学ぶだけでは実感はなかなか得られないものですが、豊富な経験を持つ先輩スタッフに実際のケースをベースに教えていただけるので、教科書上の知識ではなく血肉の通った経験として学ぶことができるのも非常に良い点だと思います。



## 学びながらはたらくということ

もちろん勉強と仕事との両立は楽なことではありません。ただずっと勉強していても息が詰まってしまうので、平日はしっかり仕事と勉強をして、時々まとまった休みを取ってしっかり遊ぶというように意識して生活にメリハリをつけています。有休はチームリーダーに相談しながらきちんととることができるので、そういう意味でも仕事と勉強を両立させやすい職場であると思っています。

## 公認心理師として働くこと

公認心理師実務従事者として勤務した最初の1年はまさに「怒涛」でした。復職デイケアのスタッフとして勤務し始めましたが、仕事もいっぱいあるし、学ぶこともたくさんあるし、その中で浮かんでくる自分の気持ちもあるしで、まだまだ未熟なところを痛感する毎日を過ごしていました。そういうときにデイケア内の同じチームの先輩やリーダーに相談するとしっかり話を聞きながら先輩の見立てや支援の仕方を教えてくださり、患者さんに対する最も良い支援について一緒に考えていただきました。また、所見や心理検査のレポートの仕方もわからないことだらけでしたがメンター制度があるためサポートを受けることができます。

そうやって日々自分で勉強したり時には助けてもらいながら担当患者さんが少しずつ改善していくことを肌で感じられる瞬間はとても嬉しいですし、小さな成果を拾いながらこの怒涛の1年を乗り越えられている気がします。



## モチベーションと勤務環境

今は復職デイケアがメイン業務なので、実際に患者さんが復職されたときや、復職した方から「順調だよ」と聞いたりすると、やったことが無駄ではなかったんだという喜びや達成感を感じます。心理検査のフィードバックと課題設定も公認心理師実務従事者の業務のひとつですが、患者さんが課題に取り組んだ結果うまくいった実感があったと言ってもらえるのも大きな喜びです。治療意欲がない患者さんや関わりがうまく持てないときにもどかしさを感じることもあります。周りの先輩方からフォローやスーパーバイズを受けながら成長していける環境が整っています。

また、院長先生がいろんなことに興味がある方なので、デイケアや研究で新しいことをするとき積極的に応援してもらえる土壤があります。業務改善や簡素化・効率化に積極的なので、勤務年数にかかわらず意見を取り入れてもらえる柔軟な職場であるということも魅力のひとつです。業務と勉強の両立になるため、省略すべきではないことと効率化すべきところ、優先順位のつけ方などバランス感覚の涵養もできます。培ったその能力で日々業務を行い、勉強しながらも自分を大事にして同期と励ましあい、上司や先輩方に助けていただける環境だったから、公認心理師試験に合格できました。

公認心理師実務従事者として働くことは、簡単でも楽でもありません。ですが自分のやりたいことを積極的に取り入れてくれる場所なので、やりたいこと、夢を持っている方が来てくださることをお待ちしております。



## 働きと学びのモチベーションは

対人援助業務なので、目に見えた成果を実感する機会は少ないですが、なかなか通院できなかった患者さんが毎日外に出られるようになったり、引っ込み思案だった患者さんの発言量が少しずつ増えていたりするなど、患者さんの変化を実感したり自分の成長を感じることが喜びです。前職で培った人当たりの良さを生かし、ユーモアとあたたかさをもって接することで安心してもらえるような関わり方を心がけており、肩肘の張らないカジュアルさで話しながらも目標や取り決めをしっかりと設定することで話しやすいけど甘いだけではない心理士を目指しています。失敗体験を積み重ねて動きづらくなった人たちに挑戦する勇気を持たせられる、はじめの一步を踏み出すきっかけになれるような心理士になるため、日々研鑽中です。



先輩たちの声



〒060-0003

札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル3階

医療法人社団 心劇会

さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ

電話 011-280-0556 FAX 011-280-0552